



### 十三小

## 海洋スポーツ開幕

### 六カ月ぶりにレディー・ゴー

十三海洋クラブの出艇式は、四月十七日午後一時五十分から十三前潟特設桟橋において、十三小学校の四十六年生の児童四十四人が参加して行われました。

とあいさつ、続いて、十三海洋クラブの八木沢良藏会長が「海洋性スポーツに取り組み

晴天に恵まれた出艇式では、福多一彦校長が、豊かな自然とすばらしい環境をつくってくれた関係者に感謝の言葉を述べたあと、「これまでの優秀な成績に誇りをもち他の学校に負けないような体力の増進と精神力を養ってください」と力強く宣

明るさと向上心と体力の兼ね備えた、りっばな生徒になっただけだ」と激励しました。このあと、児童会長の藤本学君が「ぼくたちは、先生方の教えを守り、海洋性スポーツをとおして心と体を鍛えることを誓います」と力強く宣

誓。神主に扮した成田勝義教頭が、安全祈願のお願いをしたあと、出席者全員で「われは海の子」を合唱して出艇式を終えました。

出艇式のあと、カッター、ローボート、OPPヨット、ダブルスカル等を持ちこみ、六カ月ぶりにパドルの感触を楽しんでいました。



出艇式後、パドルをにぎりサア、出発だ！



カヌーの部で、昨年は全国優勝を果たした。



早く乗りたいたナア……。順番を待つ十三小の児童たち。

### 今月の主な記事

村長施政方針	2
昭和61年度一般会計予算	2～5
昭和61年特別会計	6～7
役場のしごと	8～9
人事異動	8～9
松岡医師着任	10
新しい献血制度	11
おしらせ	12
出稼者激励訪問	13
戸籍の窓	14

## 施政方針

## 逆転の発想を基軸に

## 新しいふるさとづくり



村長 三重 貢

## 0万円の台所

昨年は市浦村誕生三十周年という節目の年を迎え、その一年を記念年と定め、全住民あけて今日の本村の基礎を築いた歴代村長や先達の功績を讃え、ともに、新たな未来の道へと活力と創造性に満ちた地域づくりを誓い合った訳であります。

しかしながら私たちの願望とは裏腹に、この三十年間の時流の中で本村の人口は一千八百人も減少し、基幹産業である農林水産業の従事者数も一千八百二十四名から、七百三十七名へと、その六十パーも

実した生活環境の実現を図るため、逆転発想を基軸に新しいふるさとづくりに向け努力を重ねて参ったのでありますが、村政担当四年目を迎えさらには心を新たにし村政伸展のため最善の努力を致す所存であります。

なれば攻めの交易の基本であったと評価されております。私もそうし安東氏の伝統と精神を受け継ぎ、今こそ受身の姿勢から攻めの地域おこしへと積極的に取り組んでいく覚悟であります。

## キメ細かな

## 施策を展開

は、消耗品、食糧費、旅費、補助金等内部の経費の一部カット、三年連続して職員の出欠の不補充、施設職員の配置の見直し等、徹底した歳出の抑制を図り、財政の健全性を保持しながらも、一方においては広範囲かつ多様な行政需要に、的確に対応していくためにキメ細かな施策にも意を用いたつもりであります。

このため企業誘致と過疎脱却が本村の不变の政策目標となつて来たところであります。地方自治は、そこに住む住民の生命を守り人権を守る誓であるとすれば、我々はそれを阻害する敵と断固対決していかねばならないと思つて、私は村長就任以来、こうした沈滞したムードを一掃し、住民全体の利益とより豊かに充

大勢力を誇つていた安東水軍の制海権は日本海、瀬戸内海から熊野灘に及んだと云われはありますが、特に元寇の役で知られる文永十一年(一二七四年)と弘安四年(一二八一年)の蒙古襲来襲の時には、村上水軍と共に我が安東水軍が主力となつて縦横無尽の活躍をされたと言われています。北の勇者としてのこの安東一族の制海権の確保は、言う

なれば攻めの交易の基本であったと評価されております。私もそうし安東氏の伝統と精神を受け継ぎ、今こそ受身の姿勢から攻めの地域おこしへと積極的に取り組んでいく覚悟であります。

に経済的、物質的な豊かさ求めるだけでなく、心の豊かさや個性的な文化活動など、生活の質的な向上を求める傾向にもあります。

## 目的別の

## 主な予算

昭和六十一年度予算は、一般会計15億9千5百万円、特別会計8億4千2百万円5千円、合計24億3千7百万円5千円となりました。

昭和六十一年度一般会計歳出予算の主なものを、目的別にお知らせします。

◆単位：千円(内は前年度当初予算)



◆議会費  
43,389千円  
(42,989千円)

◆議会費は、議会活動に必要な経費として四千三百三十八

万九千円計上しました。



◆総務費  
209,650千円  
(207,101千円)

◆総務費については、主として管理部門における職員の給与、需用費等を中心に総額として二億九千六百万円を計上しました。

◆一般管理費一億五千六百七十四千円、広報広聴費八百八十五万四千円、財産管理費七百一十二千円、企画費四百九十三万三千円、交通安全対策費九十五万四千円、ふるさと定住対策二百二十四万五千円。

◆総務管理費では、役場庁舎を六十一年度着工をめぐり、六十二年度着工をめぐり、六十二年度中は保安法の解除、財源対策等を中心に進められた。

◆め事務費として三千万円計上してあります。

◆また津軽半島振興対策促進協議会及び青森県地下資源開発調査促進協議会の負担金が新規計上となっております。

◆戸籍住民基本台帳費一千四百二十万一千円、選挙費については、参議院議員選挙、青森県知事選挙等が予定されていますことから、三百四十五万九千円計上しました。

# 昭和61年度一般会計予算

# 15億9千500



**民生費**  
民生費については、前年度当初に対し、九・一割増の一億五千九百三十六万二千円を計上していますが、社会福祉総務費については、街灯電気料百三十八万円、村社会福祉協議会補助金三百二十四万円、金木病院負担金二百三十万円など、所要の経費を見込みました。

老人福祉費については、老人家庭奉仕員(ホームヘルパー)を現在の一人から三人に増員するための賃金、二百八十六万四千円を見込み、奉仕活動の充実を図ることにしています。また、昭和六十年八月から始めていた老人介護の一環であるミー・デイ・サービス事業についても、前年度の倍額の百二十万円を措置し、老人福祉の充実に当たります。

このほか、津軽北部老人福祉事務組合連合運営負担金五百六十八万五千円、老人保健特別会計への繰り出し金八十四万九千円などを計上しました。

▼国民年金事務費四百三十一万六千円、▼老人生きがいセンター運営費二百九十九万六千円、▼児童福祉費一億二百万七千円、▼児童福祉総務

費七百八十六万一千円、▼屋内保育所費二千七百六十二千円、▼臨児保育所費二千二百四十四万四千円、▼十三保育所費二千五百二十三万七千円、▼へき地保育所費三百七十三万四千円、▼児童館費六百三十一万九千円。

衛生費については、前年度当初に対し四・八割増の五千六百九十七万六千円を見込んでいますが、近年の健康づくりの重要性から、各項目にわたって、きめ細かな配分を行っています、保健活動を展開することにしていきます。

▼保健衛生総務費では、派遣保健婦負担金四万九千四百四十二円、簡易水道特別会計繰出金二千二百八十八万円、▼予防費百三十六万三千円、▼母子衛生費七十六万九千円、▼老人保健事業費四百三十一万八千円、▼環境衛生については、岩井地区のごみ捨場の整備を図るために、管理事務所の建設と看視員の配置等に係る関係経費二百九十六万五千円を新たに計上しました。

労働・商工費については、失業対策費と出稼労働者援護事業費を合わせて百四十五万七千円計上しましたが、出稼者の安全就労と健康管理の立場から、出稼者の健康診査に半額助成することになりました。

また、今年四月オープンする観光ビュッセルを活用して本村のビュッセルを積極的に行うため、トラベルガイド負担金の計上など、キメ細かな措置もしています。

五十九年度から継続してきた中島公園整備事業は、河川敷解除の事務手続き等との関連から、本年度は給排水、給電施設、外灯工事、野外炉、キャンプ場、駐車場の整備等を中心に実施し、活性化センター等の構造物については、六十二年年度以降着手します。

安東文化のふるさと整備事業は、六十年度に新しく指定を受けたものですが、六十年度は唐川城跡、春日内観音堂附近を重点に整備を進めました。六十一年度は、福島城跡山王坊遺跡及び大沼公園の施設整備を進めることになっています。

▼清掃費一千四百七十五万五千円のうち清掃総務費五百五十五万四千円、▼塵芥処理費八百五十七万一千円。

▼労働・商工費 一億八千四百九十九千円、▼商工総務費三百七十八万七千円、▼観光費百九十二万四千円、▼中島公園整備事業費六千三百六十二万九千円、▼安東文化のふるさと整備事業費三千七百二十四万六千円、▼中島公園管理運営費二百六十三万三千円。

本村における商工業の実態は、人口の減少、地域経済の不況等のほか、老細業者が多くなり、最近の消費者ニーズや経済の進展に即応できない側面



**衛生費**  
衛生費については、前年度当初に対し四・八割増の五千六百九十七万六千円を見込んでいますが、近年の健康づくりの重要性から、各項目にわたって、きめ細かな配分を行っています、保健活動を展開することにしていきます。

▼保健衛生総務費では、派遣保健婦負担金四万九千四百四十二円、簡易水道特別会計繰出金二千二百八十八万円、▼予防費百三十六万三千円、▼母子衛生費七十六万九千円、▼老人保健事業費四百三十一万八千円、▼環境衛生については、岩井地区のごみ捨場の整備を図るために、管理事務所の建設と看視員の配置等に係る関係経費二百九十六万五千円を新たに計上しました。

労働・商工費については、失業対策費と出稼労働者援護事業費を合わせて百四十五万七千円計上しましたが、出稼者の安全就労と健康管理の立場から、出稼者の健康診査に半額助成することになりました。

また、今年四月オープンする観光ビュッセルを活用して本村のビュッセルを積極的に行うため、トラベルガイド負担金の計上など、キメ細かな措置もしています。

五十九年度から継続してきた中島公園整備事業は、河川敷解除の事務手続き等との関連から、本年度は給排水、給電施設、外灯工事、野外炉、キャンプ場、駐車場の整備等を中心に実施し、活性化センター等の構造物については、六十二年年度以降着手します。

安東文化のふるさと整備事業は、六十年度に新しく指定を受けたものですが、六十年度は唐川城跡、春日内観音堂附近を重点に整備を進めました。六十一年度は、福島城跡山王坊遺跡及び大沼公園の施設整備を進めることになっています。

▼清掃費一千四百七十五万五千円のうち清掃総務費五百五十五万四千円、▼塵芥処理費八百五十七万一千円。

▼労働・商工費 一億八千四百九十九千円、▼商工総務費三百七十八万七千円、▼観光費百九十二万四千円、▼中島公園整備事業費六千三百六十二万九千円、▼安東文化のふるさと整備事業費三千七百二十四万六千円、▼中島公園管理運営費二百六十三万三千円。

本村における商工業の実態は、人口の減少、地域経済の不況等のほか、老細業者が多くなり、最近の消費者ニーズや経済の進展に即応できない側面

を有していますが、逐年整備を進めている観光施設と産業おこしを積極的に推進する中で、今後の活路を見出し、行こうという考えです。その前提となる金融対策と業者育成の立場から、県信用保証協会への貸付金三百万円と同協会の出せ入金も継続して予算計上しました。



**労働・商工費**  
労働・商工費については、失業対策費と出稼労働者援護事業費を合わせて百四十五万七千円計上しましたが、出稼者の安全就労と健康管理の立場から、出稼者の健康診査に半額助成することになりました。

また、今年四月オープンする観光ビュッセルを活用して本村のビュッセルを積極的に行うため、トラベルガイド負担金の計上など、キメ細かな措置もしています。

五十九年度から継続してきた中島公園整備事業は、河川敷解除の事務手続き等との関連から、本年度は給排水、給電施設、外灯工事、野外炉、キャンプ場、駐車場の整備等を中心に実施し、活性化センター等の構造物については、六十二年年度以降着手します。

安東文化のふるさと整備事業は、六十年度に新しく指定を受けたものですが、六十年度は唐川城跡、春日内観音堂附近を重点に整備を進めました。六十一年度は、福島城跡山王坊遺跡及び大沼公園の施設整備を進めることになっています。

▼清掃費一千四百七十五万五千円のうち清掃総務費五百五十五万四千円、▼塵芥処理費八百五十七万一千円。

▼労働・商工費 一億八千四百九十九千円、▼商工総務費三百七十八万七千円、▼観光費百九十二万四千円、▼中島公園整備事業費六千三百六十二万九千円、▼安東文化のふるさと整備事業費三千七百二十四万六千円、▼中島公園管理運営費二百六十三万三千円。

本村における商工業の実態は、人口の減少、地域経済の不況等のほか、老細業者が多くなり、最近の消費者ニーズや経済の進展に即応できない側面

を有していますが、逐年整備を進めている観光施設と産業おこしを積極的に推進する中で、今後の活路を見出し、行こうという考えです。その前提となる金融対策と業者育成の立場から、県信用保証協会への貸付金三百万円と同協会の出せ入金も継続して予算計上しました。

また、今年四月オープンする観光ビュッセルを活用して本村のビュッセルを積極的に行うため、トラベルガイド負担金の計上など、キメ細かな措置もしています。

五十九年度から継続してきた中島公園整備事業は、河川敷解除の事務手続き等との関連から、本年度は給排水、給電施設、外灯工事、野外炉、キャンプ場、駐車場の整備等を中心に実施し、活性化センター等の構造物については、六十二年年度以降着手します。

安東文化のふるさと整備事業は、六十年度に新しく指定を受けたものですが、六十年度は唐川城跡、春日内観音堂附近を重点に整備を進めました。六十一年度は、福島城跡山王坊遺跡及び大沼公園の施設整備を進めることになっています。

▼清掃費一千四百七十五万五千円のうち清掃総務費五百五十五万四千円、▼塵芥処理費八百五十七万一千円。



**入歳**  
村税 一億三千九百六十三万三千円、地方交付税八億三千三百一十六万六千円、国・県支出金一億五千九百九十九千円、村債一億五千四百八十八万円、このうち村税については、

地方交付税については、国庫補助負担率の引下げに伴う地方負担の増加に対応する措置がとられたため、ある程度の増額が見込まれるものの、投資的経費に係る基準財政需要額から五百億円を減額さ

れることとなり、加えて本村では国勢調査人口の減少や寄宿舎廃止に伴い、約七千万円減額されることとなるため、トータル試算の結果、本年度は六十年度実績の三割減となる見込みです。

地域の強い要望を満たすために、目一杯の財源をほしたものであり、調整財源もほとんどないことから、今後は経常経費の節減など弾力的に対応し、適正かつ合理的な財政運営に努めることにしています。



●住宅費 千四百四十四万円  
 ●公営住宅管理費十四万円  
 ●公営住宅建設事業費一  
 千三百九十九万円が主なもの

▼道路新設改良費七千四百十  
 四万九千円は、十三小学校線  
 改良工事一千八百万円、相  
 十三線歩道設置工事一千五  
 万、岩井九号線舗装新設工  
 事一千九百九十六万八千円、  
 吉野実取線舗装新設工事百  
 十六万五千円、太田三線舗  
 装新設工事四百五十五万円等  
 が含まれています。

### 道路の新設・公営住宅も二戸新築

◆土木管理費千六百六十六万  
 四千元は、人件費が主なもの  
 です。◆道路補修費八千九百  
 四十七万五千円。◆道路維持  
 費一千五百三十二万六千円は  
 除雪費八百七十六万六千円、  
 維持補修費五百八十六万六千  
 円、県道側溝整備負担金八十  
 万円が主なもの。



あり、六十八年度も岩井団地  
 に木造平屋建二種公営住宅  
 二戸を建築します。  
 ◆漁港費二百七十七万一千円  
 は、十三漁港防波堤改良工事  
 及び臨元漁港防波堤改良工事  
 の負担金等です。  
 ◆国土調査費四百七十三万七  
 千円は、国土調査の未送付地  
 区の結川、太田山の井、五月  
 女滝、土佐の送付費等です。

非常備消防費一千五百六十六  
 万七千円では、第一分団(一  
 七)の自動車ポンプ購入費  
 九百万円を初め、防火貯水槽  
 一基三百八十万円、自然利  
 の整備事業費等を含めて、二  
 千九百四十七万円を計上しま  
 した。

消防費 一億六千九百九十一万  
 三千円。これは前年度当初よ  
 り一千五百八十八万八千、十六  
 ・四割増えした。主なもの  
 としては、津軽北消防事務  
 組合負担金八千五百九十六万  
 六千円、この中には市浦分署  
 の指令車更新費三百万円に係  
 る負担金も含まれています。

### 消防費

とると共に、本村特有の雄大  
 な自然と歴史的風土を村教育  
 の基調とし、「うるおいと活  
 気」に満ちた学校教育、「自  
 立と連帯」をめざした社会教  
 育、村民総入りスポーツと文化  
 活動の振興を図り、感性豊かな  
 人づくりを開かれた活力のある  
 村づくりを積極的に推進す  
 ることにしています。

次代を担う青少年の健全育  
 成と社会の進展に応じた人的  
 能力の開発等、文教の振興に  
 ついては、国において最も重  
 点の一つとして取り上げ、最  
 時教育審議会の中で精力的に  
 進めているところです。  
 本村においても、これら国  
 ・県の施策に応じた措置を

の根拠は、家庭生活の中での  
 ウエイトが大きいところから、  
 本年度の教育の重点施策の一  
 つに、親子のふれあいの強化  
 を掲げています。この活動  
 を側面から補完するために、  
 野外キャンプ用具を購入し、  
 子供会を通して貸出すること  
 とし、その所要額五十万円  
 を計上しました。



相内小学校・職員玄関、プ  
 ール改修工事として百五十  
 七万六千円。太田、臨元、三  
 三各小学校のプール改修工  
 費として百九十三万五千円  
 山王坊遺跡発掘調査委託費に  
 百四十万円のほか、ジュニア  
 リター・研修、生涯教育推進  
 事業、かしこい生活運動推進  
 事業、家庭教育学級、婦人学  
 級等、人づくり、地域づくり  
 のための所要額についてもキ  
 メ細く配慮しています。

いを強化  
 親子のふれあ  
 そうした観点から教育費総  
 額で一億六千三百九十一万二  
 千円の所要額を計上しました。

◆事務局費四千三百五十五  
 万五千円。◆教育総費五千九百五  
 千円。◆教員住宅建設事業費  
 八百二十七万円。◆小学校費  
 二千八百四十七万九千円。◆  
 相内小学校費七百八十五万三  
 千円。◆太田小学校費三百四  
 十七万九千円。◆臨元小学校  
 費六百八十四万一千六千円。◆  
 三小学校費五百五十六万八千三  
 百円。◆教育振興費二百四十三  
 万八千円。◆中学校費一千七

### 教育費

百九十五万九千円。▼学校管  
 理費一千五百五十九万二千元  
 ▼教育振興費二百三十二万七  
 千円。◆高等学校費二百四十  
 三万二千円。◆社会教育費一  
 千五百七十七万九千円。◆公  
 民館費三百六十九万九千円。  
 ▼文化財保護費百四十九万九  
 千円。▼コミュニティセンタ  
 ー運営費五百七十五万八千三  
 百円。▼学校給食費四千三  
 百三十八万八千円。▼学校保健管  
 理費百八十八万一千円。▼海洋  
 センター運営費五百一十一万  
 一千円。

長期計画  
 策定に着手  
 急速に進行  
 している社会  
 的、経済的変  
 動は、若者の  
 大都市への流  
 出を招き、高  
 齢化を加速さ  
 せ、地域の活  
 力の減退をた  
 らしめています。

◆災害復旧費二千六百五十二  
 万六千円は、六十八年度から実  
 施中の磯松橋被災復旧工事業  
 が主なもの。◆公債費については、前年度  
 と比較して二千五百六十一万  
 円増の、二億四千九十九万二  
 千円となりました。

これは、本年度予算総額の  
 十五・一割に相当するもので、  
 財政硬直化の要因となりつつ  
 ありますが、財政の健全性を  
 はかる指標である公債費の制  
 限比率は九割であり、県内  
 市町村の中でも指標的には良  
 好な状態にあります。

### 災害復旧公債費

こうした厳しい時代を乗  
 り越えるためには、正しい  
 分析と判断による的確な対  
 応が必要であることから  
 本地域が持つ潜在的な可能  
 性の追求を通じて、地域経  
 済活性化と成熟化社会へ向  
 けての展望を探究するため  
 がら、村の長期計画づくり  
 に着手することにしていま  
 す。

また、ムラおこし、産業  
 おこしは住民の創意と連帯  
 と努力を待つところが大き  
 いと思われ、その中で、その意  
 識を啓発し、地域振興の原  
 動力になっていただくため、  
 先進地研修(ムラおこし、  
 産業おこし実践セミナー)  
 を行うことにしています。

おこしは住民の創意と連帯  
 と努力を待つところが大き  
 いと思われ、その中で、その意  
 識を啓発し、地域振興の原  
 動力になっていただくため、  
 先進地研修(ムラおこし、  
 産業おこし実践セミナー)  
 を行うことにしています。



# 事業新解説 地下資源 開発調査

地下資源開発調査促進に  
ついては、本村の四ツ瀧附近には豊富な金属鉱床があると謳われていますので、これを積極的に調査し、地域に格別を注いでいたため、将来企業化を進めるために、地下資源開発調査促進協議会(会長、青森県副知事)に加入し、陳情を強化していくことになりました。

# 事業新解説 太田小学校の 改築

校舎全体の九十割までが危  
険校舎に指定されている太田  
小学校の改築については、緊  
急にその改築を行うべく調査

費を三千万円計上しています  
が、国・県との財源交渉の中  
でその見通しが確定次第、予  
算を追加計上し、本年度着工  
に持っていくことになっています。  
太田小学校の改築にあつて  
は、相内小学校との統合も  
検討してみました。  
財政的な見地からだけ考え  
れば、確かにメリットはあり  
ますが、子供の教育権の保障

や学校は部落のもの、という  
太田地域の歴史的な背景を冷  
静に判断した場合、財源対策  
という目先の議論のみで左右  
すべきではない、という結論  
に達したものです。  
また、最近続発している学  
校内での「いじめ」や自殺の  
問題は、大規模校の弊害であ  
ると言われる、小規模校の見直  
し論を課題として取り上げら  
れてきています。

クラブ活動は、児童の自主  
性を育て、仲間づくりを進め  
る上では極めて重要な活動で  
すが、通学距離が遠くなる  
こうした活動ができなくなる  
ばかりか、教育に最も必要な  
子供と親と教師をつなぐパイ  
プが詰る恐れも出てきます。  
また、太田小学校は分校の  
時代から父母たちによって守  
り育てられてきた、歴史の重  
みがあります。マセ割り、校

舎の雪おろし、運動場の整地、  
学校備品、施設の整備など、  
部落会員の努力奉仕や高野  
にもあり維持されてきた経緯  
もあり、大人たちにとっても  
地域の文化センター的役割を  
果たしている状況をつなぐパイ  
プが詰る恐れも出てきます。  
また、太田部落にとって、学校は  
公共施設の最後の砦であり、  
入つくり百年の大計の中で、  
太田小学校の改築に踏み切ら  
う、というものです。



移転新築が待られる  
市浦村役場

# 農業共済



としましてはあまり大幅なもの  
にはならないものと予想して  
います。  
歳出では、医療諸費の二億  
三千二百九十九万八千円が大  
半を占めています。  
歳入については、支払基金  
交付金一億六千三百二十二万  
二千円、国庫支出金四十六万  
五千一百六十六円、県支出金一  
千六百二十二万九千九百九  
円など、制度上の負担割合に  
基づいて計上したものです。

◆相内財産区特別会計は、歳  
入歳出ともに一千九百九十三  
万九千円と定めました。  
地域住民の冠婚葬祭の利便

◆十三財産区特別会計は、七  
千九百円と定めました。  
管理経費にとどめています。

# 水稲の作付面 積が増加

農業共済事業特別会計は、  
農作物共済勘定五千三百四十  
九万一千円、家畜共済勘定一  
千二百七十三万三千円、業務勘定  
一千八百八十五万五千円を計  
上しています。  
農作物勘定は、前年度比一  
千五百一十一万九千円の増額とな  
りました。この主なもの  
前年度農業災害補償法の一部  
改正により、昭和五十九年度  
までは農作物交付金の交付団  
体でありましたが、昭和六十  
年度から逆に農作物保険料を  
納入する団体となり、このた  
めの予算四百八十三万五千円  
と、水稲の作付面積が増加し

# 施設の維持補 修を重点に



◆臨元財産区特別会計は、九  
百七十一万五千円となり、お  
不動山山頂の展望所建設費及  
び老人生かがいセンター前庭  
の舗装のための繰入金等が主  
なものです。

◆十三財産区特別会計は、七  
千九百円と定めました。  
管理経費にとどめています。

を因るため、基幹集落センタ  
ーに三二〇、四平方メートル  
たるの事業費四百五十万円の  
柵栽培及び造林事業費とし  
て三百九十二万二千円、相内地域  
の消防自動車の購入及び学校  
施設等の維持補修のための繰  
入金六百六十九万四千円等が  
主なものです。  
歳入については、既に造成  
した宅地売却収入を充ててい  
ます。  
◆臨元財産区特別会計は、九  
百七十一万五千円となり、お  
不動山山頂の展望所建設費及  
び老人生かがいセンター前庭  
の舗装のための繰入金等が主  
なものです。

# 事業新解説 役場庁舎は 移転新築

役場庁舎の建設について  
は、六十二年度着工を目的  
に計画を進めています。が、  
六十一年度中は、保安林の  
解除、財源対策を中心に  
対応することになっています。  
また、三月開催した定例  
村議会では、役場事務所の  
位置を変更する条例が  
提案され、合併計画書に基  
づく役場庁舎を、市浦村大  
字相内字相内三四九番地の  
一に建設することを満場一  
致で議決しました。